

オンライン交流で深める絆



Zoomを利用したオンライン交流会の風景
(高田中学校)



モニター越しに意見交換をする生徒たち(東部中学校)

5月25日(水)に町内中学校2校(高田中学校と東部中学校)と鹿児島市立甲東中学校の3校がZoomを利用したオンライン交流会を行いました。これまでは、5月25日に鹿児島県で行われる薩摩義士顕徳慰霊祭の参列に併せて、町内中学校2校の生徒代表者(各2人ずつ)が甲東中学校を訪れ、交流会を行ってきました。しかし、令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて実施できない状況が続いているため、今年はオンライン形式で交流会を実施しました。

各校による学校生活や生徒会活動の紹介の後で、意見交換や質疑応答が行われ、和やかな雰囲気での交流することができました。初めての試みでしたが、活発な交流が行われ、県をこえた絆を深められる会となりました。

情報通信技術を活用し、進化した教育を子どもたちに



5月中旬から下旬にかけて、町内各小中学校で教職員を対象としたタブレット端末(児童生徒一人に一台整備)を有効活用するための研修会が行われました。現在、町では「GIGAスクール構想」を更に推進し、効果的・効率的な教育を目指しています。そのため、6月よりタブレット端末を活用した学習ドリルを本格的に導入しました。

この研修会には134人の教職員が参加し、「タブレット端末を活用することで、クラスの児童生徒ひとりひとりの学習傾向や取り組み状況などを的確に把握することができるため、学習ツールの一つとして有効活用していきたい」と期待の声が上がりました。

体を動かし、楽しく学ぶ



5月12日(木)に日吉小学校で、日本あいうえお体操協会の指導により“体を動かして楽しんで学習する”授業が行われました。10月に行われる「芸術鑑賞会」で、児童たちは体操を発表する予定であるため、今回は楽しく元気に体操に触れることで、親しみを持ってもらおうと授業を開催しました。児童たちは、体を使って平仮名を表現する「あいうえお体操」や、チームで考えたオリジナル体操を発表するなど、楽しく授業に参加していました。

体操を考案した日本あいうえお体操協会の山田茂樹会長は「小学校で講師をしたのは初めてでしたが、児童たちが楽しそうに体操に取り組んでくれたのでよかったです」と手応えを感じていました。